

# 町田市情報システム導入方針

2. 0版



情報システム課

2022年4月1日

# 町田市情報システム導入方針（2.0版 2022年4月1日改定）

## 1 経緯

2022年4月からスタートする、新たな基本構想・基本計画である「まちだ未来づくりビジョン2040」において、「2040なりたい未来」を実現する上で、特に分野横断的に取り組むべきテーマの1つとして「デジタル化による行政サービス改革」を掲げている。

そしてこの中で、町田市が進むべきデジタル化の方向性を、「デジタル技術を活用した市民サービスの向上、生産性の向上、新たな価値の創出」の3つの基本方針からなる、「町田市デジタル化総合戦略」として示したところである。

## 2 目的

行政サービスを「人手のかかるサービスデザイン」から「デジタルベースのサービスデザイン」への変革に資する情報システムやシステムサービスの導入を図る。

## 3 導入方針

情報システムやシステムサービスの導入にあたり、国や他自治体の動向と最新の技術動向を注視するとともに、4つの情報システム導入方針を踏まえることとする。

### 方針1：業務・システムの標準化

- (1) デファクトスタンダード(\*1)を含む標準技術を採用すること
- (2) クラウド・バイ・デフォルト(\*2)原則を踏まえること
- (3) 標準準拠システム(\*3)、または、パッケージ形式を採用し、カスタマイズは行わないこと
- (4) 地域情報プラットフォーム標準仕様書(\*4)に準拠すること
- (5) 独自ネットワークを必要としないこと
- (6) BPR(\*5)を実施のうえ導入すること

### 方針2：市民サービスのデジタル化

- (1) デジタル3原則(\*6)を踏まえること
- (2) マイナンバー制度やマイナポータルに対応すること
- (3) 町田市オープンデータガイドライン(\*7)に対応すること

### 方針3：情報セキュリティの確保

- (1) 町田市情報セキュリティポリシー(\*8)に適合すること
- (2) 情報が手元に残らないこと

### 方針4：カーボンニュートラル(\*9)の推進

- (1) 「ゼロカーボンシティまちだ」(\*10)に貢献すること

## 【注釈】

### (\*1) : デファクトスタンダード (De Facto Standard)

公的な認証ではなく、競合他社との競争の結果、業界標準となった製品や規格のこと。

### (\*2) : クラウド・バイ・デフォルト原則

情報システムの整備に当たっては、迅速かつ柔軟に進めるため、クラウドサービスの利用を第一候補として検討するとともに、共通的に必要とされる機能は共通部品として共用できるよう、機能ごとに細分化された部品を組み合わせる設計思想に基づいた整備を推進する、という考え方のこと。

### (\*3) : 標準準拠システム

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、住民基本台帳や個人住民税などの17業務が情報システム標準化の対象となった。このことを踏まえ、国が策定する「標準化基準」に適合する情報システムのこと。地方公共団体は、2025年度末までに標準準拠システムの利用を求められている。

### (\*4) : 地域情報プラットフォーム標準仕様書

(一財)全国地域情報化推進協会 (APPLIC) が示した、自治体の庁内における業務システムのマルチベンダ化を進めるために、庁内の様々な業務システム間の情報連携を可能とする標準仕様のこと。

### (\*5) : B P R (Business Process Reengineering)

既存の業務フロー、組織、情報システムなどを抜本的に見直すことで、業務を改革すること。

### (\*6) : デジタル3原則

「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律(デジタル手続法)」において示された、行政のあらゆるサービスを最初から最後までデジタルで完結させるために不可欠な3つの原則(①デジタルファースト:個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結する、②ワンスオンリー:一度提出した情報は、二度提出することを不要とする、③コネクテッド・ワンストップ:民間サービスを含め、複数の手続・サービスをワンストップで実現する)のこと。

### (\*7) : 町田市オープンデータガイドライン

町田市がオープンデータを推進するにあたり、基本的な考え方、取り組みの方向性、公開の手順等を示したもの。

### (\*8) : 町田市情報セキュリティポリシー

町田市が実施する、情報セキュリティ対策の方針や行動指針のことで、どのような情報資産を、どのような脅威から、どのように守るのかといった基本的な考え方や情報セキュリティを確保するための体制・対策などを示したもの。

**(\*9) : カーボンニュートラル**

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることで、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。2020年10月、国は2050年までに、カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。

**(\*10) : ゼロカーボンシティまちだ**

町田市の豊かな自然環境と次世代の暮らしを持続可能なものにするため、「2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロ」を目指す宣言のこと。